

陸送協会ニュース

第 192 号

2024 年 3 月

編集・発行者

一般社団法人日本陸送協会事務局

東京都新宿区新宿 1-11-15

電話 03-3356-3977 / 7922



令和5年度通常総会開催される

令和6年2月15日（木）に品川プリンスホテルメインタワーに於いて全国から96

会員の皆様に出席いただき、令和5年度通常総会が開催されました。

今年の総会も昨年と同じく、オンラインによるライブ中継を実施しました。

1 開会の辞

佐藤専務理事

令和5年度通常総会開会の辞

2 会長挨拶

北村会長



北村会長

皆さん、こんにちは、

本日は、一般社団法人日本陸送協会通常総会に、多数、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。開会に先立ちまして、本部を代表して、ご挨拶を申し上げます。尚、本日は、昨年同様、YouTubeを通じて、全国にライブ配信を、させて頂いておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年は、年始早々、悲しいニュースの幕開けとなりました。

まず最初に、元旦に、最大震度マグニチュード7.6を観測する能登半島地震が発生致しました。お亡くなりなられた方々のご冥福を、お祈り申し上げますと共に、被災された全ての皆さまに対して、心より、お見舞いを申し上げ、一日も早い復興、復旧をお祈り申し上げます。

そして、翌2日には、羽田空港で、民間の旅客機と海上保安庁の機材の衝突事故が発生しました。旅客機の乗客・乗員は、全員、奇跡的な脱出となりましたが、能登半島の被災地に、救援物資を届ける予定だった、海上保安庁の機材乗務員の尊い命が失われました。改めて、ここに、謹んで、ご冥福をお祈り致します。

さて、昨年は、3年半に渡った「新型コロナウイルス感染症との闘いから、「コロナとの共生」に踏み出し、ウイルスの弱毒化が、専門家の想定以上に進み、もの凄いスピード感で、日常の生活を取り戻す一年となりました。

また、「水際対策の緩和」や「感染症の分類の見直し」に加えて、円安の進行は、コロナ禍の3年間、来日できなかったりピーター層の、いわゆるペンントアップ需要を促し、インバウンド需要が増加しました。

本年は、「コロナとの共生の年」から、待ちに待った「アフターコロナの時代」へと、前進していく年となります。

いよいよ、来る4月より、乗務職の時間外労働時間の上限を定めた「働き方改革関連法」が施行されます。更に、厚生

労働省による「改正・改善基準告示」の運用も始まります。

これに伴い、昨年3月末には、「物流2024年問題」に関する閣僚会議が実施し、6月には、「物流の革新に向けた政策パッケージ」が発表になりました。

本日は、現在、国土交通省と協議を進めております「陸送版2024年問題」への対応について、ご紹介させて頂き、会員各社の皆さまのご理解と考察を深めて頂きたいと思っております。

まず、始めに、昨年の国内自動車市場を振り返ってみます。長引く半導体不足による減産体制が緩和され、長い間、クルマを待っていたお客さまへの、納車が促進されると共に、メーカー各社の量販モデルの新型車の発表・発売に伴い、2023年1～12月の国内新車総市場は、対前年13.8%増加の約478万台となり、5年ぶりに前年を上回る結果となりました。

クリーン・エネルギー車と言われる「電気自動車」「プラグイン・ハイブリッド車」そして、「燃料電池車」の販売台数は、約14万台となり、構成比は3%程度と、欧米、中国に比べて、極めて低いものの、対前年45%以上の増加となりました。

一方、中古車流通市場は、新車販売の増加に伴い、下取り車も増加し、オークションへの出品台数は、対前年で約14%増加しました。しかしながら、昨年夏に発覚した大手中古車業者による不祥事は、社会現象に発展し、中古車業界全体への不信感を招くこととなり、オークションでの成約率が低下する結果となりました。

一方で、円安を背景に中古車の輸出が、150万台を超える過去最高の輸出台数を記録したことにより、2023年中古車流通市場は、約643万台となりました。

新車500万台、中古車700万台、合計1200万台が、国内自動車流通の動向を判断する際の目安になっておりますが、新車、中古車ともコロナ前の水準には戻っていない状況と言えます。

昨年10月に開催されたジャパン・モビリティ・ショーでは、少子高齢化に伴う「クルマ離れ」に対して、モビリティ社会に求める「新しい個人的な移動」の重要性が訴求されました。若い世代は、コロナ禍の経験を生かした「新しい日常」に向けての「クルマの使い方」や、クルマそのものに求める機能を敏感に感じ取っているのではないのでしょうか。

クルマの「電動化」や「自動化」、そして、「知能化」が進んでいくのに伴い、輸送に伴う確認事項や付帯作業が増え、それが、乗務員に、更なる負荷をかけることになれば、2024年問題への対応にアゲインストの風が吹くことになりかねません。

ここで、現在進めている「陸送版2024年問題」への取り組み概要について、ご紹介させて頂きます。

陸送事業者が自ら取り組んでいく内容として、乗務員の採用、勤務体制の変更はもろろんのこと、輸送付帯作業を分業化することで乗務員の負荷を下げる活動、ドッキング輸送やリレー輸送による長距離輸送への対応などの取り組みとなります。

次に、荷主やお客様に、ご理解とご協力をお願いするものとしては、輸送料金そのものの改定に加え、輸送の付帯作業の料金の徴収、交通量の少ない時間帯での納車、オークション会場の搬出期限の延長などとなります。

そして、行政へのお願いとしては、規制緩和や運用ルールの変更についてであります。積載車による輸送事業に関しては、単車の「オーバーハングの容認」とトレーラーを含めた「高さ規制の緩和」であります。自走による輸送事業に関しては、「回送標板の取付け簡素化と取付け免除の拡大」そして、「ETC専用化に伴うポータブル端末の採用」となります。

これら以外に、現在トラック協会が中心となり推進している物流業界全体に係しているものとなります。例えば、高速道路の最高速度の引き上げや休息施設の充実、外国人在留資格の特定技能職への「運転手」の追加などがあります。

次に、陸送事業からの視点として、「自動車産業政策」や「税制改正」への要望をまとめております。

昨年国内で販売された、電気自動車は、新車が約9万台でした。残念ながら、中古車の統計は存在しませんが、2万台前後ではないかと推定しております。現在、EVの中古車は、火災のリスクを回避する目的で、海運各社は「船積み」を、取り扱っておりません。補助金を受けたE

Vの「処分制限期間を過ぎた中古車」が、今後、市場に出回るのが3～4年後となります。モーターシフトができない中古EVの長距離の陸送は、2024年問題から逆行する話であります。引越越しに伴うEVの「マイカー輸送」などを含めて、「EV輸送」の在り方を、陸送協会として取りまとめ、自動車産業政策として、取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。

その他にも、13年前の東日本大震災の際に義務付けられた中古車の内航船舶積み時の線量検査は、処理水の放出が始まった今でも行われております。新車には検査義務はありません。13年前に新車だったクルマが、現在、どうすれば「被ばく」するのでしょう。検査すべき中古車がないのが実態であり、検査を受けるために、各港では、搬入時間が定められており、陸送の配車計画にも影響を与えております。

また、長年の懸案である「路上の荷扱い問題」や「繁閑差の是正」なども、自動車産業政策の中に、組み入れてもらわなければ、解決できない問題と捉えております。

このように、2024年問題を契機として、課題を整理できたことは、大きな一歩となりますが、規制の緩和や産業政策、そして税制改正など、どれもハードルの高い項目であり、今まで以上に、日本自動車工業会や自動車総連などの自動車各団体と、連携を深めながら、粘り強く、折衝を続けて参ります。

現在、招集されている通常国会におい

て、トラック輸送事業の潜在的な構造である「多重下請け」に関する物流関連2法案を、改正する準備が進んでおります。この改正は、荷主や元請け事業者、利用運送事業者の在り方や下請け業者の管理体制を義務付けるものとなり、近々、閣議決定される予定であります。今後、理事会の場を通じて、考察を深めていきたいと思っております。

昨年一年間を通じて、販売会社各社が抱えていたバックオーダーの納車が進み、受注を停止していた車種も再開に向けて進みだしました。現在、新車市場、中古車市場に、混乱が見られ、不透明感が、払しょくされてない状況にあります。陸送事業に携わる貴重な乗務員が、他業種に流出することがないよう、会員各社の皆さんには、ご配慮をお願い申し上げます。

4年間自粛を強いられていたコロナ禍から、アフターコロナの時代に入り、物価高の中での消費マインドは、クルマの購買から、旅行やレジャーに向かう動きが、活発になってきております。我々陸送事業者は、今まで以上に、安全に配慮して、一つ一つの輸送を完遂し、確実にクルマをお届けし、自動車業界を力強く支えていかなければなりません。

最後になりますが、新しいモビリティ社会に向けて、クルマに求める機能が多様化し、クルマの使い方そのものも、変化していくことになるでしょう。我々陸送事業者としても、市場の動きに敏感に対応していくことが求められると思っております。

皆さんにとつて、今年1年が、実り多き、素晴らしい一年になることを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ご清聴、誠に、ありがとうございます。

3 議長選出 北村会長

北村会長に議長の選出が一任され、定款第15条の規定により石田副会長が議長に選出された。



石田副会長

4 開会宣言及び議事録署名人の指名

- (1) 議長から定款第18条1項の規定で定める総会の定足数について、会員総数691会員（うち正会員495会員）、本日の出席者96会員（うち正会員78会員）、委任状提出者301会員で、正会員出席者数、委任状提出者数の合計が379会員となり、正会員総数の過半数を超え、総会が成立する旨報告があった。
- (2) 定款第19条2項の定めにより議事録署名人に磯部芳治理事及び柴崎康男理事が指名され承認された。

5 議案審議

第1号議案



柴崎理事（左）、磯部理事（右）

(1) 令和5年度事業報告
資料に基づき佐藤専務理事より下記の事業活動並びに組織運営の報告がなされた。

I 事業活動

- 1. 「令和5年度日本陸送協会短・中期活動計画」に基づく活動推進
 - ① 「教育・認定制度」の推進
 - ② 陸送事業者の実態把握と関係先への理解活動
 - 1) 陸送事業概況調査
 - 2) 積載車路上積み降ろし作業問題

の解決
3) 高速道路入口のETC専用化に対する取り組み

- ③ 支部活動の支援・充実
- ④ 交通事故抑止、環境保全に関する機器等の導入
- ⑤ コンプライアンス体制の確立
- 2. 渉外・広報活動の推進
- 3. 安全の確立
- 4. 輸送機器、輸送システムの改良等の推進
- 5. 会員数及び陸送事業の統計（実態調査による）

II 組織運営

- 1. 本部総会及び支部総会の実施報告
- 2. 理事会の実施報告
- 3. 正副会長会議及び委員会等の実施報告
- (2) 令和5年度決算報告
続いて、佐藤専務理事より令和5年度決算について、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書等の報告並びに令和5年度決算書（1月1日～12月31日）についての報告があった。
- (3) 令和5年度会計監査報告



細谷監事

細谷監事より会計監査を令和6年1月19日(金)実施した結果、本協会の業務及び財産の状況並びに事業報告及び決算について、適切に処理されている旨報告があった。

議長は、第1号議案の議決について諮ったところ、令和5年度事業報告、令和5年度決算報告、会計監査報告は原案通り満場異議なく承認された旨報告。

第2号議案

(1) 役員の改選

議長は、役員の一部改選が行われる旨報告された。

1) 役員の改選

- 議長は、役員の一部改選が行われる旨報告された。
- 退任理事2名を紹介
 - ・松井 正典 理事
 - ・佐藤 研一 理事
- 新任理事2名を紹介
 - ・宮本 敬司 理事
 - ・島田 利夫 理事

議長より、理事・監事候補者名簿(案)の承認について諮ったところ、異議無く原案通り承認される。また、議長より、総会前の臨時理事会で島田理事が専務理



島田専務理事

事に選任された旨報告された。

第3号議案

(1) 令和6年度事業計画(案)

資料に基づき島田専務理事より説明があり、事業の遂行に当たっては、各支部と共に行政・関係団体との一層緊密な連携を図り、引き続き業界が抱える様々な課題解決に努めていくため、「安全の確立」、「輸送秩序の確立」、「経営環境の改善」など各々の事項を積極的に推進していく旨の説明があった

(2) 令和6年度収支予算(案)

資料に基づき島田専務理事より説明があった。

議長は、第3号議案の令和6年度事業計画(案)、令和6年度収支予算(案)の議決について諮ったところ、満場異議なく原案通り承認された。

第4号議案

(1) 定款の変更について

島田専務理事より主たる事務所の位置に係る定款変更の報告の後、議長より承認について諮ったところ、異議無く原案通り承認された。

議長は、以上をもって本総会提出議案のすべてを審議頂き原案通り可決したことを報告し、全会員の協力に感謝して降壇した。

6 閉会のこぼれ

島田専務理事

令和5年度通常総会の終了宣言



本部だより

令和6年1月正副会長会議

日時 令和6年1月17日(水)
14時30分～15時10分
場所 東京都トラック総合会館
6階 会議室
議事(審議事項)

(1) 令和5年度通常総会について

- ① 令和5年度事業報告及び決算報告
- ② 令和6年度事業計画及び収支予算(案)
- ③ 令和5年度通常総会の議事進行等について

(2) 令和6年度日本陸送協会 短・中期活動計画について

・日本陸送協会 部会・委員会のワーキングからの報告 等

(3) 日本陸送協会の

会員の入退会について

(4) 令和6

年度行事予定について

(5) その他

各事項について審議され承認された



正副会長会議

令和6年1月定例理事会

日時 令和6年1月17日(水)
15時20分～16時50分
場所 東京都トラック総合会館
6階 中会議室
議事

(1) 令和5年度通常総会について

- ① 令和5年度事業報告及び決算報告
- ② 令和6年度事業計画及び収支予算(案)
- ③ 令和5年度通常総会の議事進行等について

(2) 令和6年度日本陸送協会 短・中期活動計画について

・日本陸送協会 部会・委員会のワーキングからの報告 等

(3) 日本陸送協会の

会員の入退会について

(4) 令和6

年度行事予定について

(5) 支部報告

各事項について審議され承認された



定例理事会

令和6年2月臨時理事会

日時 令和6年2月15日(木)
14時30分～15時10分
場所 品川プリンスホテル
メインタワー 3階(りんどう)

議事

- (1) 令和5年度通常総会について
 - ① 令和5年度事業報告及び決算報告
 - ② 令和6年度事業計画及び収支予算(案)
 - ③ 令和5年度通常総会の議事進行等について
- (2) 令和6年度日本陸送協会 短・中期活動計画について
 - ・ 日本陸送協会 部会・委員会のワーキングからの報告 等

- (3) 日本陸送協会の会員の入退会について
- (4) 令和6年度行事予定について
- (5) 支部報告について

各事項について審議され承認された



臨時理事会

支部だより

四国支部

令和5年度四国支部通常総会・優良従事者表彰・本部との意見交換会開催

開催日 令和6年2月21日(水)
会場 ANAクラウンプラザホテル松山

四国支部総会が本部より北村会長、島田専務理事、各支部より杉田東北支部長・泉澤副支部長、桑野関東副支部長、井上近畿支部長、中谷中国副支部長、鶴九州支部長、四国支部より柴田支部長、支部役員出席の

もと開催されました。

柴田四国支部長の挨拶に続き議題に入り、令和5年度事業報告・決算報告・会計監査報告、令和6年度事業計画、収支予算案が提案され承認されました。

優良従事者表彰式

四国運輸局 自動車技術安全部長 松田様、愛媛運輸支局長 山本様を来賓にお迎えし、優良従事者表彰式を行いました。本支部表彰受賞者3名へ北村会長より、支部表彰者5名に柴田支部長より、表彰状が授与されました。



本部役員・支部役員意見交換会
総会に先立ち、本部役員と支部役員との意見交換会が、本部より北村会長、島田専務理事四国支部より柴田支部長、支部役員に参加により行われました。

| 会社名 | 氏名(敬称略) |
|-----------|---------|
| (株)ベスプロ | 楢原 敏 |
| (株)ベスプロ | 西谷 善幸 |
| 愛知車輛興業(株) | 綾 修二 |

教育・認定制度

中部支部

「教育・認定制度」積載ドライバー教育

開催日 令和6年1月24日(水)
会場 愛知車輛興業株式会社
名古屋営業所

出席者 愛知県大府市吉田町半ノ木33番地
トレーナー 2名
受講者 3名

◆受講者の声

今後、自分の作業を見直しつつ、会社での事故件数を減らしていけるよう努めたいと思います。
・事故の無いようにこれからも頑張っていきます。
・何年経っても初心を忘れずルールを守って作業します。



座学



実技

入退会情報

入 会 (0 社)
 入会はございません

退 会 (0 社)
 退会はございません

経過・予定

| 経過報告 | 今後の予定 |
|-------------------------|------------------------|
| 1 / 17 1月正副会長会議兼総務部会 | 3 / 1 九州支部総会・優良従事者表彰式 |
| 1 / 17 1月定例理事会 | 3 / 5 北海道支部総会・優良従事者表彰式 |
| 2 / 15 2月臨時理事会 | 4 / 10 4月正副会長会議兼総務部会 |
| 2 / 15 日本陸送協会 令和5年度通常総会 | 4 / 10 4月臨時理事会 |
| 2 / 21 四国支部総会・優良従事者表彰式 | 4 / 19 関東支部総会・優良従事者表彰式 |

会員の皆様へ

- 2024年 春の全国交通安全運動について
 日本陸送協会は2024年4月1日から4月30日までの一か月間を交通安全強化月間と定め、自動車陸送事業における交通事故防止の徹底を図ることを目的に全国交通安全運動を実施します。

- 日本陸送協会ホームページについて
 日本陸送協会のホームページを多くの皆様にご覧して頂く為に、会員様のホームページからもリンク出来ますように、バナーを貼って頂きますようお願い申し上げます。

日本陸送協会ホームページURL
<http://rikusoukyoukai.org/>

日本陸送協会のホームページは毎月一度改定しておりますのでご覧下さい。
 会員専用ページ閲覧には下記のID・パスワードが必要です。

ID : 2016rikusou PW : kyoukai

